

基本的な考え方

京王グループは「環境にやさしく」という「京王グループ理念」に基づき、2004(平16)年12月に「京王グループ環境基本方針」を、2010(平22)年9月に「生物多様性行動指針」を定め、環境保全活動の推進のため、環境マネジメントに取り組んでいます。

低炭素社会を目指して

省エネルギー化への取り組み

京王電鉄バスグループでは、ハイブリッドバスや車内照明をLED化した車両を導入しています。また、西東京バスではハイブリッドバスの導入や電気バスの受託運行、京王自動車ではハイブリッドタクシーやアイドリングストップ機能付きタクシーを導入するなど省エネルギー化に取り組んでいます。



ハイブリッドバス



ハイブリッドタクシー

太陽光発電

京王グループでは、再生可能エネルギーの活用積極的に取り組んでいます。2015(平27)年2月には、相模原市の社有地において、太陽光発電事業を開始しました。



相模原市の発電設備

循環型社会を目指して

廃食油のリサイクル

京王グループ6社(京王電鉄、京王百貨店、京王食品、京王プラザホテル、京王レクリエーション、レストラン京王)のレストランなどから排出した廃食油を、石けんにリサイクルしています。



車両の他社譲渡

京王線・井の頭線で活躍していた車両が、色やデザインを変え現在でも全国各地の鉄道で運行しています。



京王線5000系(富士急行株式会社)

京王百草園の竹灯籠



京王百草園では、園内にある竹林から孟宗竹(モウソウチク)を間引きし、その竹を加工した灯籠を、紅葉が美しい時期に点灯するイベントを開催しています。

自然共生社会を目指して

京王クリーンキャンペーン



地域の貴重な自然環境の保全を目的に清掃を行う「京王クリーンキャンペーン」を、1991(平3)年から継続的に実施しています。グループ各社の社員をはじめ、一般の方にも多数ご参加いただいています。

「高尾の森再生」ボランティア活動支援

(公社)日本山岳会「高尾の森づくりの会」は、裏高尾の小下沢風景林をフィールドに、50年、100年の計画で、花粉の少ない森、多様で豊かな森の復元を目指してボランティア活動を続けています。京王電鉄は、この会の趣旨に賛同し、2002(平14)年から2015(平27)年までに広葉樹の苗木約17,000本を提供するとともに、植栽をお手伝いしています。

里地里山冊子の発行

京王沿線の里地里山の素晴らしさを知っていただくために、(公財)東京都公園協会の協力の下、多摩丘陵および加住丘陵を歩くコースを紹介した冊子「京王沿線の里地里山を歩こう」を発行しました。



里地里山冊子